



「ウサギってフワフワ」



「お餅こっちにも投げて〜」



子どもに人気の「鱒のつかみ捕り」。あまりの人の多さに鱒もビックリ

## あま〜いイチゴに舌鼓！いちご狩り感謝デー

5月5日、江間・伊豆長岡両いちご狩りセンターで、いちご狩り感謝デーが行われました。両会場で行われた特別料金のいちご狩りには、観光客や市民らが今シーズン最後のイチゴを味わいました。そのほか、江間いちご狩りセンターでは、菜の花畑の前にヤギ、ウサギ、ブタ

などをゲージに入れた「動物とのふれあい広場」や鱒のつかみ捕り、ジャム作り体験が、伊豆長岡いちご狩りセンターでは、農作物などが当たる券が入った餅まきが行われました。両会場は、あわせて約4,000人の家族連れなどで一日にぎわいました。



32億円が投じられる浸水対策事業

五月十四日、小坂排水機場で、床上浸水対策特別緊急事業（小坂排水機場及び戸沢川）採択祝賀式を行いました。国土交通省による小坂排水機場のポンプ増設と静岡県による戸沢川の河川改修が、床上浸水対策特別緊急事業として事業採択されたことを祝つたものです。以前から甚大な内水被害を受けていたこの地区の被害の軽減が大いに期待されます。

## 床上浸水対策特別緊急事業採択祝賀式

吉田兄弟「三味線だけの世界」を開催しました。四月二十日、アクシスカつらぎ大ホールで、吉田兄弟「三味線だけの世界」を開催しました。伝統と格式を備え邦楽アーティストとして活躍する若き三味線ブラザーズ吉田兄弟による約一時間半にわたる公演でした。会場には、約九百人のお客さんが集まり、繊細かつ大胆で、そして兄弟ならではのと思わせる息のあった三味線の響きを堪能しました。



息のあったパチさばきを披露

## 幻想的な雰囲気味わう吉田兄弟「三味線だけの世界」

四月二十日、アクシスカつらぎ大ホールで、吉田兄弟「三味線だけの世界」を開催しました。伝統と格式を備え邦楽アーティストとして活躍する若き三味線ブラザーズ吉田兄弟による約一時間半にわたる公演でした。会場には、約九百人のお客さんが集まり、繊細かつ大胆で、そして兄弟ならではのと思わせる息のあった三味線の響きを堪能しました。



知事から勲記を受け取る後藤さん

後藤義徳さん（守木）が、四月二十九日付けで、旭日双光章を授与されました。五期十八年間に、大仁町議員として町の発展に尽力され、うち八年間は議長を務めるなど、多年にわたる地方自治関係の功績がたたえられたものです。五月二日に、内閣総理大臣に代わって県知事から勲章などが伝達されました。また、伊豆の国市名誉市民である志太勤さん（調布市）も同日付けで、旭日重光章を受章されました。

## 後藤義徳さん（守木）春の叙勲授与

## みどりと花にふれあう1日 第2回 グリーンフェスタ伊豆の国

天候に恵まれた4月30日、韮山時代劇場で行われたグリーンフェスタ伊豆の国は、多くの来場者でにぎわいました。

16チームによる花壇作りコンテストでは、会場内の店舗で調達した花と自作の飾りを持ち込んで、各チームとも趣向を凝らした花壇を作りあげました。

子供シャガリやウクレレ演奏、人形劇、ミニSL乗車、「花と緑」をテーマにした各種体験コーナーもあり、山積みになされたスペシャルブレンド（こだわりの園芸用土）の配布は大盛況のうちに終了しました。



花壇作りに挑戦



花壇作りコンテスト最優秀賞作品



## PHOTOぎやらり〜

観光の三部門が協同することで、市内の生ごみや家畜の排せつ物から再生した肥料を野菜等の農作物生産に利用し、できた作物は地元で消費する、という構想について話し合われました。市では、「医食同源」の考えに基づき、食からの健康を市民や観光客に提供するまちづくりに取り組んでいきます。

## 安全、安心、健康のまちづくり構想が目指すもの



土づくりの重要性について言及した基調講演

五月八日、アクシスカつらぎ多目的ホールで「安全、安心、健康のまちづくり会議」を開催しました。市内外から集まった農業、環境、観光の代表者四十五人が参加しました。会議に先立ち、「今なぜ安全、安心、健康のまちづくりなのか」と題した金山重信氏の基調講演が行われ、出席者は熱心に聞き入っていました。会議では、農業、環境、

## 目指すは循環型健康づくりのまち 安全、安心、健康のまちづくり推進会議